

第5回雄武町図書館を考える会

日時 平成24年10月12日(金) 19:00～

場所 雄武町民センター2階 会議室

【アドバイザーメモ】

1 ワークショップ意見の検証・協議について

- ① 図書館は開いていれば、自分の都合の良い曜日・時間帯に使えることから、他の社会教育施設に比べて、図書館ほどリピーターが多い施設はない。
- ② 「施設」「資料」「施設と資料をつなぐ職員」という図書館の3要素において、職員の力量が大きなウェイトを持つ。職員が優秀であれば、きちんと資料も選ばれる。
- ③ 図書館の利用は無料、いつ・誰と行ってもそれぞれに居場所があるのが図書館。
- ④ 年間にどれだけ本を買い足せるかが重要。常に新しい情報を入れ、そのために職員が配置され、職員もレベルアップし、常に新しい知識や技術を持てる条件を整えるべき。

2 第5回会議ワークショップに対するアドバイス

- ① 雄武町で出されている行政資料、例えば議会の記録・町広報紙・町からのお知らせなどの地域資料は図書館が持つべき。
- ② 雄武町で出されたものは全て図書館に納める「納本条例」を定めるべき。例えば、学校が出して父兄に配るようなもの、道東・オホーツク、雄武について書かれたもの・雄武にゆかりのある人が書いたものなど・・・。
- ③ 雄武町の規模の中での産業（商業）構造を考えた時、図書館に軽食コーナーを開設することは、民業圧迫の可能性は否定できない。
- ④ 視聴覚資料について、民間のレンタル業者と同じ品揃えをするなら、税金を投入してやるべきではない。
- ⑤ 本の保管について、直射日光が当たる場所では本の劣化が早い。
- ⑥ 一定のスペースが確保されれば、人の動線によってスペースが振り分けられる。完全な壁で仕切るのではなく、書架によって仕切るべき。

- ⑦ 防音について、床はフローリングではなくカーペットが効果的。
- ⑧ 広報の最大の効果が得られるものは利用者の口コミ、行き届いたサービス・イベントが充実していれば必ず評判は広がりを見せる。図書館のサポーターズクラブを立ち上げて図書館のことを広げていくこともコストのかからない広報の1つ。
- ⑨ 図書館から出向くサービスが重要。小中学校での調べ学習への情報提供、高齢者施設へ出向いての学び・遊び等を一緒に行う、民間施設への本の配置など。
- ⑩ 仕事の上で必要なこと、生活の上で必要なこと、住民にとって、どういう時に使える施設であって欲しいのか、住民の期待をどんどん引き出していくのが図書館、それを実現するために何が求められているのかを十分認識する必要がある。